

ハウセンカに芋虫が！

ある3年生児童が、「大変です。ハウセンカに黄色や赤の点々のついた真っ黒な芋虫がいます!」と報告に来ました。(ははん。ハウセンカに芋虫ときたら、あれでしょう!) ピンと来ました。



これは、セスジスズメというガの幼虫です。予想通りです。



大きなギザギザの口は、まるでエイリアンです。

この口でハウセンカの葉をどんどんかじって食べていきます。



真っ黒の体に頭に近い方は黄色の点々。

こうしてみると、黒と黄色の配色がとても美しい幼虫ですね。

でも、幼虫が大きく成長すると、真っ黒い部分が褐色と白のまだら模様やしま模様になってしまいます。さらに、黄色い点は目玉模様になります。いかにも芋虫！って感じになります。

また、特徴としては、この幼虫には角のようなものが一本生えています。角が生えている方が頭に見えるのですが、実はお尻です。このようにお尻を頭に見せかけることによって、敵から大切な頭を守っているのだそうです。

ところでスズメガの仲間は飛ぶのが速いことで知られています。

昼間、高速で飛行するオオスカシバは、初めの飛行で鱗粉（りんぷん）と言われる羽についている粉を落としてしまいます。その結果、色がついて見えた羽が透明になります。でも、羽が透明になることで大きなハチに見えるので、オオスカシバにとっては捕食者から身を守ることにもなっています。擬態（ぎたい）と呼ばれています。

さて、この幼虫はどんなガ（成虫）になるのでしょうか。